

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	2570101606
法人名	ウェルフェア株式会社
事業所名	グループホーム雅荘
訪問調査日	平成22年 3月27日
評価確定日	平成22年 3月31日
評価機関名	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2570101606
法人名	ウェルフェア株式会社
事業所名	グループホーム雅荘
所在地	滋賀県大津市坂本6-32-49 (電話) 077-579-5333

評価機関名	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク		
所在地	東京都千代田区九段北4-1-9		
訪問調査日	平成22年3月27日	評価確定日	3月31日

【情報提供票より】(22年3月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	14 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 14.6 人

(2) 建物概要

建物構造	単独型 木造		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	84,000 円	その他の経費(月額)	27,000 円	
敷金	有・無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(400,000 円)・無	有りの場合 償却の有無	有・無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(3月26日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	7 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.2 歳	最低	68 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大津赤十字病院、 堺医院、
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者の居室には、入居前に持っていた馴染みの家具什器を持ち込んで、生活の違和感のないようにしている。最近のグループホームの災害事例などに関連し、避難訓練を1回増加して、2回からの救出のシミュレーション(人形を使った実践訓練)を行う計画になっている。外出の支援を出来るだけ行っているが、利用者の一番興味のある食事を楽しむために食材の買い物に1日4組が近くのスーパーに出かけている。運動機能の維持を目指すとともに、地域との交流にもなっている。ケアプランの作成時の家族との意見交換は、会議形式ではなく、来訪時の面談により反映している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>近隣との災害時相互支援の課題については、ホームの駐車場も一時避難場所になっているとともに、ホームの利用者数よりも多めの緊急備蓄品を備えて、地域向けの共用が考えられている。地域との災害の協定な度も検討中である。上記の避難訓練も、地域の住民の協力が得られることが重要であるため、期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員各自が関連した部分を評価し、ユニットごとに会合を開いて取りまとめている。各階のリーダーと管理者でホーム全体の自己評価としてまとめている。日常の業務にも反映されるように、リーダーが会合などで伝達している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>今年度は3回行われ、市からは比叡地域包括センターからの参加がある。ホームの状況の報告や利用者や職員の異動などの報告と、行事の予定と結果を説明し、アドバイスを得ている。インフルエンザや火災のニュース関連での検討、利用者の単独外出事故に関連した交番との協力打ち合わせなどが説明されている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>苦情解決制度の内容や意見箱なども玄関に掲示設置されている。外部の苦情受付制度も示されている。家族からの意見は、本外部評価の利用者家族へのアンケートで示されているが、苦情や不安について、特にコメントもなく、ほとんど満足している様子が分かる。大きな行事には、家族が訪問しており、新年会などには、7組の家族が参加している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>お盆(地藏盆)の時にお供えをしたり、ホーム前で新年の餅つきを行い、通行の住民へ餅を配ったりして参加を誘っている。また、日常の買い物や散歩で顔見知りになった近所の人が声をかけたり、野菜を届けるなどの付き合いをしている。自治会の運動会にはこの区の代表として区対抗のリレーに参加している。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく、健康に、快適に、安心に」の理念が玄関に掲示され、パンフレットや事業計画書に明示されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念の3要素を具体的に説明し、職員が利用者や家族への対応や支援の仕方が分かるようになっている。また、スタッフの位置づけとして、「生活のパートナー」であり、「疑似家族」でもあることとして、スタッフの心得も8項目示している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームのオープン時から町内の自治会の12の区分の第9区に加入して活動に参加している。相互の行事における交流が進められている。地元の祭りや一斉清掃、近所の老健の祭りなどに参加している。災害時の相互支援も検討中である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員個人個人が項目ごとの自己評価を行い、ユニットごとにリーダーによってまとめられている。総合的な自己評価は、管理者と2人のリーダーによって決定されている。この評価を業務を見直すチャンスとして、次年度への業務改善への参考にしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括センター・家族代表・民生委員などの参加で開催している。ホームの行事の実施と予定を報告し、外部の委員からはボランティアの活用、近隣地域との連携方法のアドバイスがある。インフルエンザや防災関連の話題も多く地域との連携の検討が行われている。避難訓練も地域の人の参加も考慮している。	○	会議前のホーム側の準備は十分なされているので、運営推進会議の開催を定期的に行う様にされたい。年間の開催予定を年初に決定し、確実に実施することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日常的な市役所との連絡のほか、市からの介護相談の派遣事業を受け入れている。相談員が利用者との対話を行い、生の情報が伝えられてサービスの向上への助けになっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者の日常の生活や健康状態を、写真とともに家族に2か月に一回郵送している。預かり金の明細も月一回送付している。また、行事報告やスタッフ紹介などを知らせる「雅荘通信」も2か月に一回作成送付している。家族の来訪時には、生活状態の記録を示して報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	市の介護相談員の訪問日を家族参加の行事の日にする事で、家族の声が相談員に届くようにしている。実効があるとのことである。苦情受付の掲示や意見箱も設置している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員のユニット間の異動はできるだけしないようにしている。今回非常勤ながら1名の職員の増員を行い、遊軍的に動ける職員(リベロ)が得られた。各利用者との個人的に話し合うことに集中することができ、利用者の気持ちを深く聞き取る効果が期待できる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時の職員オリエンテーションによって、基礎的な研修は行っている。外部の研修には、可能な限り参加している。内部の勉強会や研修は、感染症対策など緊急のものに限られている。	○	職員の勉強会など短い時間での研修をユニットごとに行う様にして、育成を図っていくことも重要である。もちろん年間の予定を立てて、計画的に外部研修や資格取得支援などにも期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県の「淡海グループホーム協議会」に参加して、意見交換や実習見学などに参加している。また市社協比叡ブロックの「おむすびネット比叡」に加わっている。グループホームだけでなく、デイサービスや宅老所など17事業所が集まっており、相互の情報や交流が進みつつある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に家族とともにホームを見学して、雰囲気を確認している。本人の生活歴は職員も共有するようにしている。居室は、利用者自身の家具什器や記念品を持ち込むことで、馴染みの空間に近いものになっている。職員は利用者の入居当初に対応した書式の日報に記録することで、生活や意向を把握している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事に関して、職員と一緒に活動してもらっている。食材買物に一日4組の職員と利用者1~2人がスーパーに出かける。男性の利用者も買物に行っている。料理の補助や味付け配膳も行う。洗濯物の畳み、昔の歌など、やりたいことを広いリビングルームで職員と自由に行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人及び家族からそれぞれ生活歴や入居後の希望等を聞き取っている。また、入居後は、日々の利用者との会話や家族が来訪の際もしくは連絡時に意向を確認している。さらに、勤務職員のうちの1名を利用者と1対1で向き合う役割を与え、じっくりと話す機会を設けたことで、意向をより深く聞き取れるようになった。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族にケアプラン作成にあたってのアンケート調査を実施して、意向の他、カンファレンスへの参加の意向、ホームに対する意見・要望等を聞き取った。会議形式のカンファレンスは難しい状況ではあるが、家族が面会の時や電話連絡時に、ケアプランに関する意見交換することで、ケアプラン作成への参画をしてもらっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランは、日々計画通りに実施できたか否かをチェックしている他、毎月モニタリングシートを用いて振り返りをして定期的に見直しを行っている。また、ケアプランは3~4ヶ月で更新しており、利用者の意向や状況の変化に沿った計画となるよう進化させている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の家族には、希望があれば宿泊をしてもらっている。また、1階はリフト浴の設備があるため、2階の利用者で自力での入浴が困難な場合は、1階のリフト浴を使用している等、2ユニットの機能を有効活用している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームでは、2ヶ所の協力医療機関と提携しているが、利用者及び家族からの要望があれば、これまでの主治医と引き続き連携を図れる様、柔軟に対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した場合のケアについては、家族を含めた関係者と話し合いを設け、その対応について検討し、よりよい支援方法を見出している。	○	引き続き利用者の重度化に伴う職員間の共通認識を図り、支援に関する知識とスキルの向上に向けた取り組みに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の個人情報に関しては、個別のファイルに整理・保管している。また、日常生活での利用者への声かけは、本人にだけに聞こえるようにする等、プライバシーや利用者の羞恥心へ配慮した対応をするよう努めている。	○	利用者の個人情報やプライバシーに関する配慮等については、管理者及びリーダーがそれぞれフロア会議等で話し合うよう努めている。引き続き新人職員をはじめ、職員間で共通の理解を深める取り組みに期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間は大まかに設定しているが、その他は利用者の個別の生活ベースの他、こだわりや興味・関心事のあることを優先的に行ってもらおうようにしている。そのために、利用者がやりたいこと等の思いを把握するよう意識して対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームでは、当日の昼食や夕食の買い物は、その都度利用者と一緒に出かけることを大切にしている。献立を決めて調理をし、配膳して食し、片づけるという一連の流れの中で、利用者からの意向を反映したり、参加してもらう等、利用者と共に食事を作り上げていくという姿勢を大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夜間や早朝の入浴は、職員配置により難しいが、それ以外では、できるだけ利用者の意向に沿った時間に入浴ができるように対応している。また、1階はリフト浴があるため、2階の利用者で使用する必要がある場合は、活用している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	基本的には、洗濯物や料理の盛り付け等、日常生活の中で利用者自身が役割として行っていることを尊重している。家族からの意向もあがっており、今年度は、職員の働きかけにより、ビーズや昔ながらの遊び、夏祭りに向けてのうちわの絵付け等を行うサークル活動に取り組んでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材や消耗品の購入は、近くのスーパーで購入しており、日常的に外出している。また、今年度は、職員が利用者から意向の把握に専念する時間をつくり、一人ひとりとゆっくり話をすることで、利用者に関して新たな気づきを得る等、有効な取り組みとなっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームは、外出やトイレ介助等で職員が不在になる時や夜間等、防犯上必要と思われる場合以外は基本的に施錠していない。一人で外出することが多い利用者に関しては、緊急時対策として近隣の警察等に声かけをしておき、何かあった場合は、即時対応してもらえるよう体制を整備している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の定期的な避難訓練を実施している。今年度は、年度末にさらにもう1回消防署の協力を得て、実施を予定している。その際に消防署より人形を借りて、実践を想定した具体的な訓練になるよう準備をしている。	○	災害時の対策は、実践を踏まえた訓練の必要性と地域との連携の強化を考えており、訓練の参加を近隣の自治会に声かけをする等、取り組みを始めている。今後は、災害時における、近隣住民の避難場所・救援場所となることと、逆にホームの火災などには、近隣からの緊急支援を期待するという、相互支援の体制が期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事や水分の摂取量については、個別にチェック表に記載しており、把握に取り組んでいる。また、主治医による定期的な検診等によって、健康状態を確認して、食事や水分について、必要に応じて具体的な指示を受けることで、調整や配慮を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは、採光や室温・湿度等を調整し、利用者が快適に過ごせるように配慮している。また、テーブルには季節の花を飾っている他、絵画を飾る等、心地よい空間になるよう努めている。さらに、ソファの配置等も利用者がゆったりと座れるような工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームは、備え付けの家具等は置かず、利用者が使い慣れた物を持ち込んでもらうようにしている。その際は、部屋に入る量等を家族と相談して決めてもらっている。慣れ親しんだ物に囲まれて、居心地良く安心した生活ができるよう配慮している。		

【事業者名称】グループホーム雅荘1階ユニット

22年 3月 9日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく健康に・快適に・安心に」の理念を掲げ、ケアにあたっている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入社時や業務中・勉強会の場で理念の確認、共有を行っている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	パンフレットに理念を掲載し、玄関にも理念を掲示している。2か月ごとに作成している広報誌にも理念を記載している。		
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	買い物や散歩をしている時に気軽に声を掛けて下さったり、新鮮な野菜を届けてくださり、日常のお付き合いをさせて頂いている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や地域の運動会に参加し、近隣の方には餅つき等に参加して頂いている。		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	定期的に坂本地区の事業所が集まり、地域への貢献方法を話し合っている。		
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員間で実施する意義を確認しあい、去年の評価を皆で見直したうえで今年の評価を職員全員で行っている。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日頃の活動報告や取り組みを運営推進会議で話し合い、各種助言等をいただき、サービスの向上に取り組んでいる。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市から派遣される介護相談の派遣事業を積極的に取り入れ、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用されている利用者も居られ、学ぶ機会を持っている。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束に当てはまる恐れがあるものはその都度、管理者を交えて話し合いを行っている。又、身体拘束に当てはまる恐れのあるものはご家族に説明を行っている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始前から説明を行い、利用開始時に重要事項説明書や契約書により説明し、随時確認をとりながら話をしている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設け、利用者やご家族から意見を集めると共に、介護相談員の受入を行っている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2か月に一度、写真を同封した手紙を送ると共に面会時には生活状況を記録を観て頂きながらお伝えしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員の訪問日をご家族参加の行事の日に設定し、介護相談員に意見を伝えやすくしている。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行われる法人内の管理者会議や事業所の会議を通じて意見交換が行われている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	月毎の勤務表にて職員を配置し、必要に応じて臨機応変に対応できるように努めている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は必要最低限に控え、異動が必要な時も検討を重ね配慮している。		
理念を実践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時にオリエンテーションにて基礎的な研修は行っているが、計画立てでの研修は行っていない。	○	今後は計画立てでの研修を行ってきたい。
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加し、同業者と交流する機会を持ち、他事業所と相互訪問等を通じ、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	経営者も参加しての懇親会を行い、意見の聴衆を行い、ストレスの軽減に取り組んでいる。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	経営者自身が運営事業所を訪れ、職員を労い向上心を持って働けるように努めている。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前の面接にて困っている事柄や解決したい事等をしっかりと傾聴するようにしている。	○	現在は管理者が全てを担っている状態なので、介護職員も同席して積極的にかかわっていきたい。
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用を考慮しておられる段階での不安・疲労感を十分に受け止め、家族の悩みを聴き、受けとめるよう努めている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現時点でのご本人の困っている事、家族が思い悩んでいる事を傾聴し、そのうえで雅荘で支援可能なサービスか否かをお伝えし、判断して頂いている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に出来る限り見学に来ていただき、ホームの雰囲気等を確認していただいている。また、ご本人の生活内容に添えるように馴染みのもの等を利用している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の献立や調理時のアドバイス等を受けたりしている。又、日々の暮らしのなかでの喜びや悲しみ・怒り等の感情を受け止め、共感するよう努めている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事等ご家族と過ごせる機会を作っている。面会時や電話等で近況報告を含め一緒に支えていく関係を築いている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族へ2カ月に一度、写真を同封したお手紙を出している。又、いつでも来て頂けるような日々の声掛けと、お越し下さった際の会話のフォロー等も行っている。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に利用されていた美容院等に同行したり、以前のご近所の方へ年賀状を出して頂いてりしている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者が一人の時は声掛けにて他の利用者と交えて話題を提供しながらお互いに話がしやすいように援助している。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	以前に入居されていた方が遊びに来られている。その際は利用者と懐かしい話をされたりと時間を過ごされている。又、以前の利用者のお孫さんに行事でバイオリンの演奏等もして頂いている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各利用者より多様な訴えが出てきているので、それぞれ傾聴して職員間が共有して解決の方法を検討している。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族より伺って記録に記入し、職員間で把握している。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の体調の変化を記録に記入し、職員間で把握して特に留意しなければならない方は、その場で確認しあっている。又、現状の残存能力を会議で検討し、ケアに活かすようにしている。		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面会時にケアプランを見て頂きながら、ご意見を聴き反映させるように努めている。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランの評価をして見直しを行い、現状に即していないと判断したものはその都度修正をするようにしている。ご家族に対しての説明も行っている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録記入や申し送り等で情報を共有しながら対応している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所内の設備、人材を最大限活かし、利用者のニーズに応えている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員から運営推進会議に地域の行事や取り組みについて意見をいただいている。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要性がある場合は地域包括支援センターが主となり話し合いを行っている。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	困難事例や必要に応じて地域包括支援センターと話し合いを設けている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者又はご家族の意見を聴いて主治医を決定している。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	職員間で共有した情報がかかりつけ医に報告し、指示・指導を受け、必要があれば専門医の受診を受けるようにしている。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者がかかっている医療機関の看護師と状態等を相談しながら、健康管理の支援を行っている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院された場合は病院関係者を含めたカンファレンスを必要時に設けている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合に家族を含めた関係者と密に話し合いを行い、利用者にとってより良い支援法歩を話し合っている。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者の健康状態を職員からの視線と主治医からの視線で話し合い、取り組んでいる。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去時等に関係者と協議し、極力ダメージを防ぐように努めている。		
地域資源との協働 10項目中 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	各個人の情報は個別にファイル化し、整理・保管している。又、対話は個々の性格に応じての声掛けを行っている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の力量に合わせて働きかけ、理解出来ない事柄には時間をかけて説明を行っている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各自自由に過ごして頂いているが、外出等で職員の付き添いが必要な場面では利用者と時間を相談して決定している。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望がある場合には入居前から利用している美容院へ一緒に同行している。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を考えて頂き、利用者の体調を考慮して一緒に食事準備を行っている。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の嗜好や好みに合わせて各種飲み物を常時用意している。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	極力トイレでの排泄を支援している。リハビリパンツやオムツの使用を開始する際は、ご家族やご本人と話し合い決めている。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	それぞれの希望やタイミングを日頃から感じ取るようにし、希望に沿った声掛けを行うように心掛けている。夜間や早朝の入浴は人員的に難しく行っていない。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自由にして頂いていますが、いつもと違う様子の時は会話等を行い、ゆっくりと休めるように支援しています。いつでも気持ちよく休んで頂けるように衛生面にも気をつけています。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物や料理の盛り付け、生活に関する事や週に1回のサークル活動等、出来る限り充実した生活を送って頂けるように支援している。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望があれば、お預かりしているお金で欲しいものや必要なものを購入していただいている。又、個人の能力に応じて管理出来る方は現金を所持されている。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に沿って外出して頂けるようにしている。利用者毎の偏りがないようにチェックシートにより確認し、職員からも声掛けをしている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事を計画し、普段行けないような場所に外出する事がある。個々の身体能力の低下もあるので、それに合わせた支援計画をたてている。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	基本的には制限なく行っているが、同じ方への電話希望等続く場合はご本人の本当の希望を傾聴し、訴えの本質を捉える事に努めている。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	大枠の時間帯でいつでも訪問・外出を行えるようにしており、居室・リビングでゆっくりと会話出来る環境を整えている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の基準等、管理者よりの説明、又は職員間での話し合いで確認している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は基本的に鍵を掛けていない。外出やトイレ介助等でユニットに職員がいなくなる場合は防犯上、鍵を閉める事もあるが、その場合は鍵を閉めた理由等を報告するようになっている。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中、長時間居室にて過ごされている場合等、訪室し確認している。夜間は定期的な巡回に加え、必要に応じて巡回を行っている。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者個々の能力に応じて所持して頂いている。又情報を職員間で共有している。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告・ヒヤリハット報告等を会議にて話し合い、再発防止に努めている。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを用意し、冊子の共有や伝達研修を行うように努めている。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て避難訓練や避難場所の確認を行い、災害時の食料や水も蓄えている。又、運営推進会議で地域の連携について協議を行っている。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時や電話にて現状のお話をし、今後起こりうるリスク等しっかりと説明し、対応策を話し合っている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃からバイタル測定を行い、食事量や水分量、排泄・排便のチェックをしており、各職員が把握している。異変時は主治医に連絡し、指示を受けている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師から薬の内容の説明を受けて、薬リストを個人のファイルに管理している。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	医師の指示のもとに、必要な方には排便を促すお茶や薬を服用して頂いている。又、自然排便を促す為に腹部マッサージや繊維質の提供にも取り組んでいる。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個々の状態に合わせて口腔内を洗って頂いている。訪問歯科の医師や衛生士によりアドバイスを頂き利用者にも行っている。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量はチェック表に記入して確認をしている。又、献立表にて栄養が偏らないようにしている。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ユニットの換気やアルコール消毒等を行っている。外出からの帰宅時には手洗いうがいをし、感染予防のマニュアルで確認し、対応している。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日買い物に行き、新鮮な食材を使用している。台所周辺の衛生管理も日常的に行っている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	極力玄関先の美化に努め、安心感を持って頂くと共に夜間以外は解放するようにしている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各テーブルに花を用意し、楽しんで頂くと共に日中は自然光のなかで生活していただけるようにカーテンを開けて過ごしていただいている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ユニットにはテーブル2か所、ソファァー・和室とそれぞれで気の合った方や職員との時間を過ごして頂いている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人、ご家族には自由に家具を持ち込んで頂いて良い事をお伝えし、暮らしやすい環境を目指している。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめにやっている	日中の換気を行うと共に、居室や通路、脱衣場の温度に留意している。又、冬季は加湿器を用いて乾燥を防いでいる。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有スペースには手すりを配置し、必要な方には使用して頂いている。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレと居室の区別がつくように表示や扉の型を変えており、又居室には名前の掲示をしている。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先に椅子とテーブルを用意し、花の水やりや日光浴が出来るようにしている。又ポーチを日本庭園風にして楽しんで頂いている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設から5年目に入り、理念である『その人らしく』がユニットリーダーを筆頭に職員間で浸透し、日頃のケアのなかで「その人らしく暮らしていただく為には、どのような支援が必要か」を念頭に置いた介護が実践出来つつあります。
今後も利用者と家族・地域と職員とで協同しながら、生活を行っていきます。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
<ul style="list-style-type: none"> □ 理念と共有 	3 項目/3項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 地域との支え合い 	3 項目/3項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 理念を実践するための制度の理解と活用 	5 項目/5項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 理念を実践するための体制 	7 項目/7項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 人材の育成と支援 	3 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
<ul style="list-style-type: none"> □ 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 	3 項目/4項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
<ul style="list-style-type: none"> □ 一人ひとりの把握 	3 項目/3項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し 	2 項目/3項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 多機能性を活かした柔軟な支援 	1 項目/1項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV-1. その人らしい暮らしの支援	
<ul style="list-style-type: none"> □ 一人ひとりの尊重 	3 項目/3項目
<ul style="list-style-type: none"> □ その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 	6 項目/6項目
<ul style="list-style-type: none"> □ その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 	6 項目/6項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 安心と安全を支える支援 	8 項目/8項目
<ul style="list-style-type: none"> □ その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 	7 項目/7項目
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
<ul style="list-style-type: none"> □ 居心地のよい環境づくり 	5 項目/5項目
<ul style="list-style-type: none"> □ 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づき運営 (項目／5項目)について

基本理念の基、職員が一丸となり取り組んでいる。
今後も地域住民の一員として、生活をしていきたい。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目／2項目)について

利用者や加須氣に安心していただき、職員と利用者と家族が共に支えあえる様な関係を築けるように取り組んでいる。今後も一方的にケアを提供するだけの関係ではなく、一緒に生活を送っていく事を念頭に努めていきたい。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目／4項目)について

利用者の生活歴・習慣として行ってきた事柄や人生観を尊重し、個々の状況に応じたケアマネジメントを今後も実施していきたい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目／7項目)について

日常生活を営むなかで、人としての当然の決定権を大事にし、利用者ご自身の判断を尊重して生活を送って頂いている。今後も利用者に、出来るだけ各種判断をしていただけるように支援していきたい。

V サービスの成果に関する項目について

多くの利用者が個々のペースで生活され、職員とゆったり過ごしながら生活を送れている。利用者職員で意見を出し合いながら、今後もこのような時間を大切にしながら生活をしていきたい。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組み課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム雅荘1階ユニット

評価年月日: 22年 3月 9日

前回評価年月日: 21年 1月 29日

評価項目番号	サービスの質の向上に向け取り組む課題		取り組み期間 (〇年〇月～ 〇年〇月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
	優先 順位	内 容				
19	1	職員と育てる取り組み	22年4月～ 23年3月	内部・外部共に計画 立てて研修を行う。		平成 23年3 月
23	2	初期に築く本人との信頼 関係	22年4月～ 23年3月	利用開始前の面接に介 護職員も同席し、積極 的に係わる。		

【事業者名称】グループホーム雅荘2階ユニット

22年 3月 5日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく 健康に・快適に安心して」の理念を掲げ、ケアにあたっている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入社時や業務中・勉強会の場で理念の確認、共有を行っている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	パンフレットに理念を掲載し、玄関にも理念を掲示している。2カ月ごとに作成している広報誌にも理念を記載している。		
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	買い物や散歩をしている時に気軽に声を掛けて下さったり、新鮮な野菜を届けてくださり、日常のお付き合いをさせて頂いている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の地蔵盆の折、お供えをしたり、12月には餅つきを行い、餅つきに参加の声掛けをし、お餅を配ったりしている。		利用者との買い物の際の挨拶、地蔵盆のお供え、餅つきの招待等、これからも行っていきたい。
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	定期的に坂本地区の事業所が集まり、地域への貢献方法を話し合っている。		
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	特に外部評価は日頃の業務を改めて見直す良い機会と捉え、より良い理念の実践の為に参考としている。	○	今後も評価を活用して、改善すべき箇所は改善し、良いところは伸ばしていきたい。
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日頃の活動報告や取り組みを運営推進会議で話し合い、各種助言等をいただき、サービスの向上に活かしている。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市から派遣される介護相談の派遣事業を積極的に取り入れ、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用されている利用者も居られ、学ぶ機会を持っている。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束に当てはまる恐れがあるものはその都度、管理者を交えて話し合いを行っている。又、身体拘束に当てはまる恐れのあるものは家族に説明を行っている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始前から説明を行い、利用開始時に重要事項説明書や契約書により説明し、随時確認をとりながら話をしている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員に来ていただき、利用者とは話をさせていただいている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせて報告をしている	毎月のお預かりしている利用者個人のお小遣いの収支報告や利用者の暮らしぶり・健康状態等を写真と共にお送りして報告をしている。		特変事項があれば必ずご家族にお知らせするようにしている。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	密接な連絡を家族ととっており、職員に伝えやすい環境作りは出来ている。また、苦情受付の説明や意見箱も設置している。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行われる法人内の管理者会議や事業所の会議を通じて意見交換等が行われている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	月毎の勤務表にて職員を配置し、必要に応じて臨機応変に対応できるように努めている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの異動は必要最低限に控え、異動が必要な時も検討を重ね配慮している。		
理念を実践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時にオリエンテーションにて基礎的な研修は行っているが、計画立てでの研修は行っていない。	○	今後は計画立てでの研修を行っていききたい。
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質の向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加し、同業者と交流する機会を持ち、他事業所と相互訪問等を通じ、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	経営者も参加しての懇親会を行い、意見の聴衆を行い、ストレスの軽減に取り組んでいる。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	経営者自身が運営事業所を訪れ、職員を労い向上心を持って働けるように努めている。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の面接時にゆっくりと時間をかけて話をし、希望に即したケアを提供できるように努力している。		利用者本人と常時コミュニケーションを図り、ご本人が困っている事を職員に言いやすい環境を作る努力をしている。
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族よりこれまでの生活歴、不安だった事、希望している事柄を具体的に聴き、それに基づいて日々の生活に反映し、又ケアプランにも反映させていく。		利用者本人の生活歴を良く聴き、それを職員共有の情報として認識し、ご家族が思っておられる事を職員も受け止めるように努力している。
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族に経済的な負担を求める際はご本人がどのような効果を得られるか話をし、他のサービス利用も含めて判断を行っている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	より良いサービスになるように、サービスを常々同じにするのではなく、状況に応じて試行錯誤を繰り返し、徐々に馴染んでいただくようにしている。その状況をご家族にも伝え、相談しながらより良いものにしていく。		利用者ご本人を取り巻く状況も変わるので、日々の記録を共有する事で、馴染みながらサービス利用を受けているのかを見極めていく。
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者には料理の補助や食器拭き等、出来る事を行っていただき、又昔の歌を合唱して学んだり支えあう関係を築いている。		個々の残存能力を把握し、具体的な支援を行えるように精査していく。
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会・電話連絡等でご本人の現在の状況をご家族に知っていただき、ご本人に現在必要な支援を共に話し合い一緒に支えていく関係を築いている。		行事等でご家族が長時間滞在される際はご本人の状況を伝え、共に支えていく為の提案を考えていく。
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	健康面や心理面等、特筆すべき事柄はご家族に連絡し、ご本人とのより良い関係が築いていけるように支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人から連絡・面会があればご本人にお伝えし、関係が途切れないよう支援に努めている。	○	ご本人と馴染みの人の関係が職員間に把握しやすいものを作成し、支援に努めていいきたい。
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士、共同生活を行っている事を意識していただき、支えあうように努めていく。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	行事活動において、ボランティアとして参加していただいたりと、付き合いを大切にしている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしや会話の中から、ご本人の思いや希望を聴きとれるようにしている。困難な場合はご本人にとって、より良いサービスが提供出来るように職員間で検討している。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に聞き取りを行い、入居後も引き続き聞き取りを行っている。得られた情報は記録に残し、日々のサービスに活かせるように努めている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人ひとりの総合的な状況は記録に残し、日々の申し送りや定期的な会議で千職員が共有出来るようにしている。		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者からは直接、ご家族からは入居時、面会時に意向を聴くようにしている。それに基づき介護計画を立案し、職員が会議で検討し、実行している。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的に見直し、毎月モニタリングシートを用い振り返りを行っている。問題が出てきた場合は話し合いを行い、柔軟に対応している。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子や発言の内容を各利用者毎のファイルに記録し、職員がいつでも確認出来るようにし、日々サービス提供に活かせるようにしている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の希望・要望に出来る限り応じるべく支援を行っている。利用者の居室で宿泊していただく事も可能である。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員から運営推進会議時に地域の行事や取り組みについて意見をいただいている。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要性がある場合は地域包括支援センターが主となり話し合いを行っている。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	困難事例や必要に応じて地域包括支援センターを話し合いを設けている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の主治医に診察をして頂いているが、ご本人やご家族の希望があれば、希望に沿った医療が受けられるようにしている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医と相談し、必要が生じた場合には他の専門医療機関で診断や治療を受けられるように支援している。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者がかかっている医療機関の看護師と状態等を相談しながら、健康管理の支援を行っている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院された場合は病院関係者を含めたカンファレンスを必要時に設けている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合に家族を含めた関係者と密に話し合いを行い、利用者にとってより良い支援方法を話し合っている。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容-実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者の健康状態をスタッフからの視線と主治医からの視線で話し合い、取り組んでいる。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去時等に関係者と協議し、極力ダメージを防ぐように努めている。		
地域資源との協働 10項目中 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	周囲の状況を見て、ご本人にだけ聞こえるような声掛けをしたり、記録の管理を行っている。血圧や体温もご本人にだけ分かるようにしている。		
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	目線の高さを同じにし、ご本人の話をまず聴くようにしている。ご自分で決定できるようにYesかNoで答えられるような質問をしたり、ご本人の了解を得てから支援するようにしている。	○	場面や状況で職員の口調が早口になる時があるので、話のスピードをゆっくりとし、分かり易い言葉で声掛けを行いたい。
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日常生活を見て、ご本人のこだわりや興味のある事に関してはそちらを優先してその人らしい暮らしが出来るように支援している。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	服を着替える時に選んで頂いている。髪を切りたいという希望があった場合、希望に沿った店に行ってもらっている。		寝起きに寝癖を整えて頂いたり、ご自分の服のしわを伸ばして頂いたり、身だしなみの支援を今後も続けていきたい。
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食や夕食の献立を一緒に考えたり、今日の献立が分かるようにボードに記載している。皮むきや盛り付けを手伝って頂いている。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご本人が好きな食べ物をメニューに一品加えたり、買い物の際に食べたいおやつを選んで頂いている。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	尿意や便意がない方であっても、出来るだけトイレで排泄を行って頂けるように、個々の排泄パターンに合わせて声掛けを行っている。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人の希望に合わせて入浴して頂いたり、タイミングに合わせて声掛けを行っている。入浴中にコミュニケーションを図ったり、歌を歌ったりして、楽しめるように支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	季節に応じて冷暖房や加湿器を使用し、快適に休息していただけるように支援している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	好きな事、得意な事を個々に見極め、それぞれに合わせて実行できるように支援している。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望があれば、お預かりしているお金で欲しいものや必要なものを購入していただいている。又、個人の能力に応じて管理出来る方は現金を所持されている。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材や消耗品を近所のスーパーで購入する際は必ず利用者と出かけている。		買い物以外にも日常的に外出出来るように、今後も支援していきたい。
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者によっては年に何回かご家族と出かけられている。一人ひとりに希望を日常的には聴けていない。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、ご家族等と会話をさせていただいている。正月には年賀状をご家族宛に書いて頂いている。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の際はリビング・居室でゆっくりとくつろいでいただく空間を作り、スタッフも一緒に近況報告を行っている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを職員全員が把握し、理解をしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかける事はなく、いつでも出入り出来るように取り組んでいる。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は職員間で利用者の所在を把握し、夜間も定期的な巡回にて安全に配慮している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミや包丁等を利用者の力量に応じて使用していただいている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者個々の嚥下状態やADLに沿って事故防止に取り組んでいる。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルに沿って職員間で統一できている。		
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練に参加していただき、避難方法の確認を実施している。	○	今後は事業所だけの避難訓練ではなく、地域の避難訓練にも参加していきたい。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会時や電話連絡時等に今後、起こりえるリスクの説明を行い、その事柄に対しての対応策もお伝えしている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	顔色や排泄状態等を職員間で把握している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送り時に薬の名前に添えて効能等も職員間で共有している。又、薬剤師より取扱の確認も行っている。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の摂取で自然排便を行っていたできるように取り組んでいる。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個々の状態に応じて、主に就寝前に支援している。		
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医師に相談しながら、個々に適切な食事量・水分摂取量を提供している。	○	嚥下困難な方や食事摂取量が少ない方への支援の仕方を考えて実行していきたい。
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	必要や状況に応じて衣類の熱湯処理等を行っている。又、外出後の手洗いうがいの徹底を図っており、てすり等のハイター消毒も行っている。		今後も手洗いうがいの徹底を図り、感染症予防に努めたい。
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の賞味期限を遵守し、作りおきをせず安全管理に努めている。		引き続き冷蔵庫内のこまめなチェックと調理用具の衛生管理をしっかりと行う。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花や鉢植え等を置き、親しみやすい雰囲気を出している。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルに花を飾ったり、季節や行事に合ったものを過度にならないように飾っている。		今後も花を絶やさないようにしたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはテーブル席、ソファ、和室があり、気の合った利用者同士で過ごせるようになっている。		適度な距離を保って生活をされているので、今後も気をつけて支援していきたい。
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前より使用されておられた家具や衣類等、慣れ親しんだ物をご使用いただき、居心地良く過ごせるように工夫している。		タンスや椅子、布団等馴染みの物を使っていただき、自宅に居るような感覚で過ごしていただきたい。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室温をなるべく一定に保つように配慮し、居室の温度調整は各利用者の状態に合わせてこまめに行っている。匂いやよどもにも配慮している。		季節によっては乾燥が気になるので、湿度と換気には今後も気を配っていきたい。
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーとなっており、手すり等も配置している。居室の家具の配置も危険がないよう、各利用者に合わせて置いている。		今後も安全とプライバシーに配慮して各利用者に合わせて自立した生活が送れるように工夫していきたい。
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各利用者の残存能力を活かした生活が出来るように援助し、有意義に過ごせる工夫を行っている。		各利用者の特徴を活かして皆で楽しんでいただいたり、身体的に不自由な場面があれば、それに対処した支援をしていきたい。
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	春から秋にかけてベランダに花や野菜を育てて楽しんでいただいている。		今後も色々な花や野菜を利用者と共に楽しんでいきたい。
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くない
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設から5年目に入り、理念である『その人らしく』がユニットリーダーを筆頭に職員間で浸透し、日頃のケアのなかで「その人らしく暮らしていただく為には、どのような支援が必要か」を念頭に置いた介護が実践出来つつあります。
 今後も利用者と家族・地域と職員とで協同しながら、生活を行っていきます。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
<ul style="list-style-type: none"> -1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有 -2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い -3. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用 -4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制 -5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援 	<ul style="list-style-type: none"> 3 項目/3項目 3 項目/3項目 4 項目/5項目 7 項目/7項目 3 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
<ul style="list-style-type: none"> -1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 -2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 4 項目/4項目 5 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
<ul style="list-style-type: none"> -1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握 -2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し -3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援 -4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 	<ul style="list-style-type: none"> 3 項目/3項目 3 項目/3項目 1 項目/1項目 10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV-1. その人らしい暮らしの支援	
<ul style="list-style-type: none"> -1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重 -1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 -1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 -1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援 -1. (5) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 2 項目/3項目 6 項目/6項目 6 項目/6項目 7 項目/8項目 6 項目/7項目
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
<ul style="list-style-type: none"> -2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり -2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 5 項目/5項目 3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目／5項目)について

基本理念の基、職員が一丸となり取り組んでいる。
今後も地域住民の一員として、生活をしていきたい。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目／2項目)について

利用者や家族に安心していただき、職員と利用者や家族が共に支えある様な関係を築けるように取り組んでいる。今後も一方的にケアを提供するだけの関係ではなく、一緒に生活を送っていく事を念頭に努めていきたい。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目／4項目)について

利用者の生活歴・習慣として行ってきた事柄や人生観を尊重し、個々の状況に応じたケアマネジメントを今後も実施していきたい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目／7項目)について

日常生活を営むなかで、人としての当然の決定権を大事にし、利用者ご自身の判断を尊重して生活を送っていただいている。今後も利用者に、出来るだけ各種判断をしていただけるように支援していきたい。

V サービスの成果に関する項目について

多くの利用者が個々のペースで生活され、職員とゆったり過ごしながら生活を送れている。
利用者や職員で意見を出し合いながら、今後もこのような時間を大切にしながら生活をしていきたい。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム雅荘2階ユニット

評価年月日: 22年 3月 5日

前回評価年月日: 21年 2月 3日

サービス項目番号	サービスの質の向上に向け取り組む課題		取り組み期間 (〇年〇月～ 〇年〇月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期評価実施時期
	優先順位	内容				
19	1	職員を育てる取り組み	22年4月～ 23年3月	内部・外部共に計画立てて研修を行う。		平成 23年3 月
30	2	馴染みの人や場との関係継続の支援	22年4月～ 23年3月	馴染みの人間関係が職員間で把握しやすい表の作成		
71	3	災害対策	22年4月～ 23年3月	地域で行われる避難訓練の参加		